

## 特集：キャリア支援

### 就職活動を終了した修士2年生から生物学類生へのメッセージ

川崎 真澄（生命環境科学研究科、小野研究室、食品、研究開発職）

#### ①就職活動を終えての感想

私は周囲よりも就職活動が長引きました。しかし、最終的には志望した職種に就くことができたことに納得しています。

#### ②就職活動前に普段から心がけておくべき準備

（就職活動を終えて活動前にやっておけば良かったと思うこと/いつの時期に何をすれば良かったと思うか?）

私は早い段階から自分とはどのような人間かを把握するための自己分析を行うことをお勧めします。特に友達や家族など身近な存在に自分とはどのような人なのかを聞いてみると良いと思います。自己分析によって自分の特性を知るとは就職活動に余裕を与えます。さらに、自己分析を通して生活を見直すことで大学生活をさらに充実したものにすることもできると思います。

#### ③生物学類の教育（遍く生物学教育）を受けた学生が受け入れられやすい業界および職種。または、受け入れられにくい業界および職種に対する考え。

就職活動を通して感じたことは未だに文系学生は学部で卒業、理系学生は院までいくことが当たり前であるという考えが根付いていることです。

そのために理系は研究職、開発職の職種に受け入れられ易い、一方で営業職や事務職の職種には受け入れられにくい傾向があります。

しかし業界研究を行い、しっかりした志望動機、将来展望を持ってればどの職種にも受け入れられる可能性はあります。

#### ④就職活動中にとった戦略について

（ES、筆記試験、面接。さらに、生物学類での教育がどのように活かされたかなどあれば可。）

私はES作製の際には読む人が読みやすいように丁寧な字で内容が分かりやすい文章作りを心がけました。面接では、相手の質問に対し結論から述べるように心がけました。そこでは生物学類のレポートやテストなどでまず結論から述べ、付け足していくという習慣が活かされたと感じています。

#### ⑤生物学類教育に望むこと

私は様々な分野に触れる機会を提供してくれることを望みます。そして授業が知識の詰め込みで終わるのではなく、学生が自ら学び始めるための動機付けになるような教育を今後も行っていただきたいと考えています。

#### ⑥将来の抱負

私は歳を重ねても新しいことに興味を抱き続けることを忘れずに商品開発に活かしていけるように日々を満喫していきたいと思っています。

Communicated by Jun-ichi Hayashi, Received December 2, 2011.